

OZUNET

おづねっと



2025年5月号

平素よりお世話になっております。大平 豪と申します。

2024 年 12 月に泉大津急性期メディカルセンターの肝胆膵外科部長として赴任いたしました。これまでに大阪市立大学医学部附属病院、和泉市立病院、馬場記念病院、大阪市立総合医療センターなどで消化器外科の修練を積み、2024 年 10 月に異動になる前は 11 年間大阪公立大学医学部附属病院で、肝胆膵疾患を中心に診療をおこなってまいりました。今後は大阪南部を中心として、肝胆膵疾患を中心に治療をおこなってまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



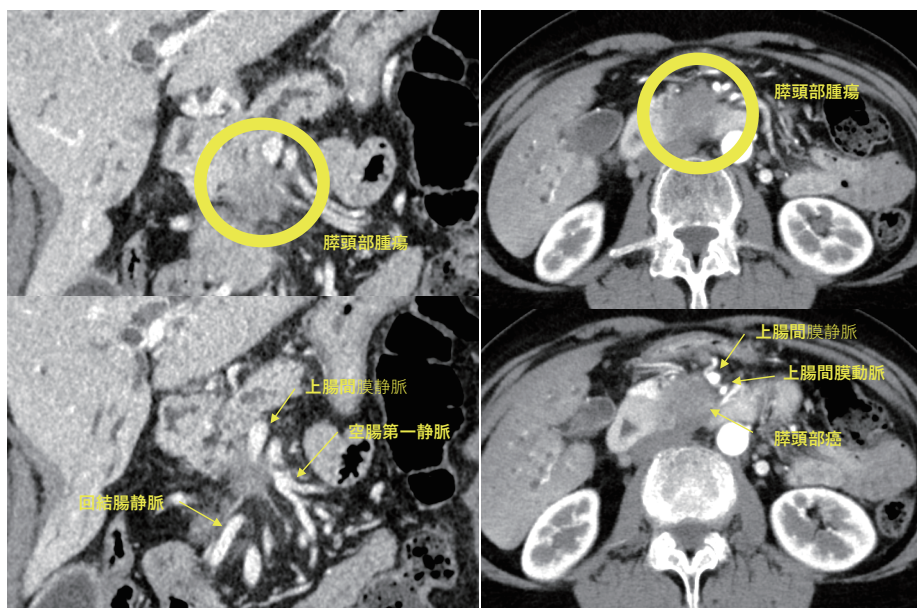
肝胆膵外科 部長 大平 豪

肝胆膵領域のがん

肝臓がん、胆管がん、膵臓がんなど肝胆膵領域のがんは他のがん比べると予後が不良ながんが多く、治療も難渋することがあります。近年は免疫チェックポイント阻害剤などを含む薬物療法の発展に伴い、少しずつ予後が改善してきている印象があります。しかしながらいまだ手術の果たす役割も重要で、放射線治療や薬物療法と手術を組み合わせた集学的な治療が重要です。少しでも予後を改善させるためには、早期発見・早期治療も重要です。当院に赴任してから受ける印象として、大阪南部は進行がんが多いという印象です。薬物が発展しても手術の技術が発達しても、進行がんにはなかなか太刀打ちできないことがあります。少しでも予後を改善させるために、地域の先生方とも協力しながら早期発見に努め、早期治療につなげていきたいと考えております。治療の限界もありますが、大学病院やがんセンターと同水準の治療が提供できるように努力してまいりますので、お力添えの程、何卒よろしくお願い申し上げます。

進行がんに対する高難度手術

局所進行膵頭部がんで、上腸間膜静脈の多数の枝が合流する部位に浸潤し、上腸間膜動脈にも少し浸潤の可能性のある腫瘍に対し、まず化学療法 {GnP療法（ゲムシタビン、アルブミン懸濁型パクリタキセル）} をおこない、腫瘍の縮小・遠隔転移の出現がないことを確認したうえで、上腸間膜静脈合併切除、大伏在静脈による静脈再建をとまなう、膵頭十二指腸切除術を施行しました（図 1）。根治切除ができたと考えております。術後経過はおおむね良好

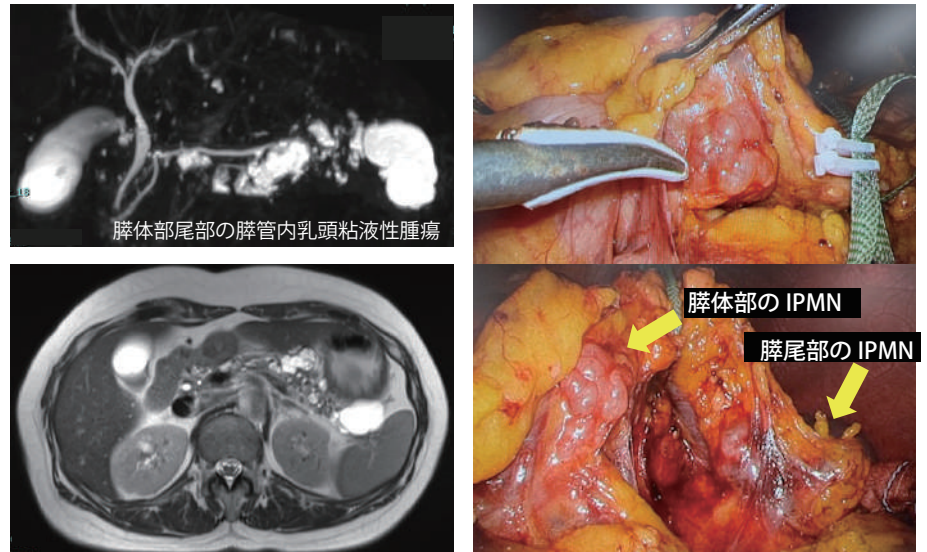


（図 1）

で、無事退院され、現在もお元気に通院中です。心臓血管外科の医師がいるため、少し難しい血管再建の手術も比較的安全におこなえるようになりました。進行していてもあきらめず、少しでも元気で長く生きられるようにサポートしてまいります。どのような症例でもご相談いただければ幸いです。

鏡視下手術（低侵襲手術）

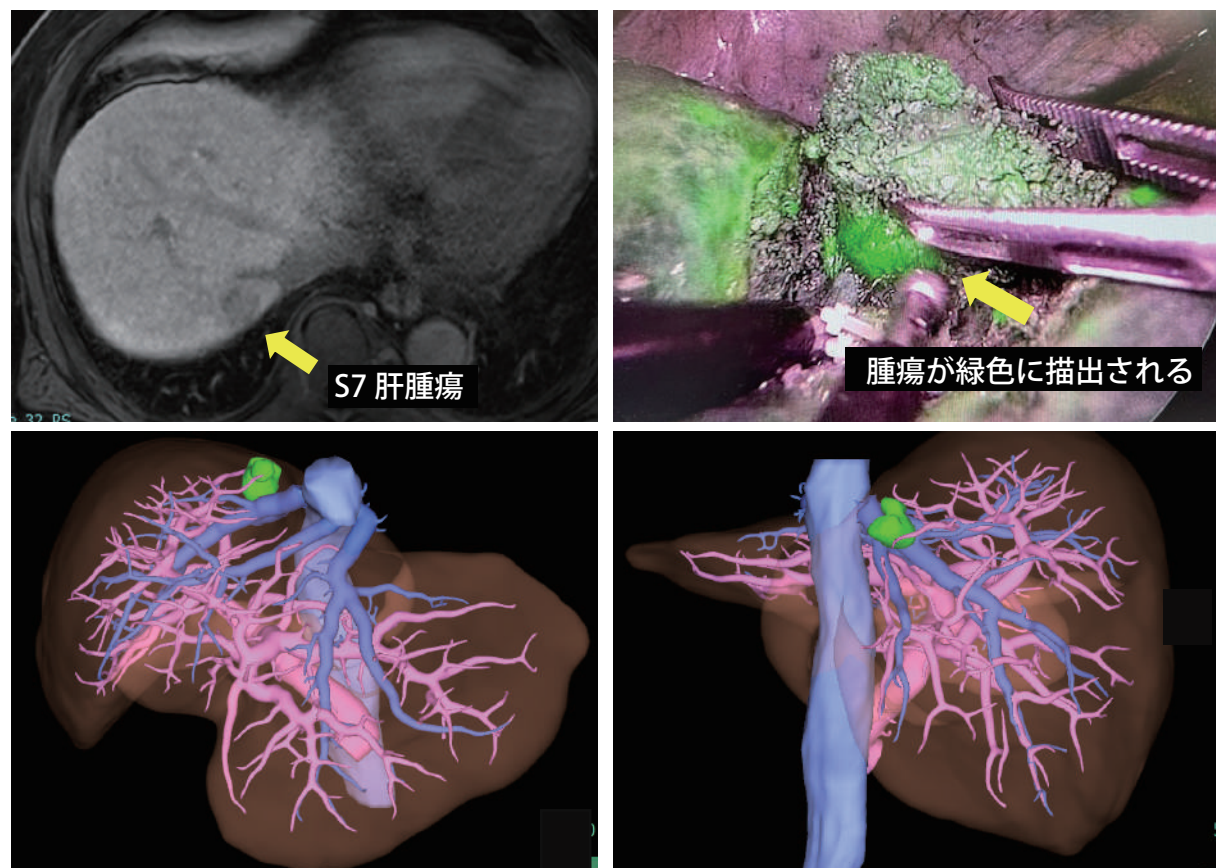
膵体部・尾部の膵管内乳頭粘液性腫瘍に対し、腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行しました（図2）。膵切や肝切でも根治切除が得られる症例については、積極的に腹腔鏡を用いた低侵襲手術をおこなっております。



膵体部尾部の膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）に対し腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行
（図2）

ICG 蛍光イメージングを用いた肝切除

腹腔鏡下肝切除の場合、術中超音波で腫瘍の位置を確認しながら手術を進めますが、深い位置の腫瘍などは位置の把握が難しいことがあります。ICG 蛍光イメージングを用いることで、腫瘍を光らせ（図3）、腫瘍を的確に過不足なく安全に摘出することができます。良いと思われる方法は積極的に取り入れていきます。



S7 肝腫瘍に対し 3D 画像解析システムを用いて腫瘍の空間的な位置を把握して腹腔鏡下肝切除をおこなっている。ICG 蛍光イメージングも使用し腫瘍を描出し、位置を確認しながら切除をおこなうことでより安全かつ的確に切除をおこなうことができる。

黄疸ホットライン

2025 年 2 月から黄疸ホットラインを開設いたしました。少しでも早期治療につながればという思いから開設いたしました。5 月までに 9 件のコールがあり、うち 2 件が膵がん、2 件が胆管がん、1 件が肝腫瘍、3 件が総胆管結石、1 件は急性肝不全でした。がんの症例は来院時に検査をおこない、2 日以内には減黄治療ができております。可能な限り 2 週間程度で手術か化学療法を開始できるように努力しております。少しでも早く診断をして、治療を開始することで予後改善につながればと考えております。今後は膵がんの早期発見ができるような検診を考えております。地域の先生方におかれましても、採血での軽度の肝障害や膵 AMY の異常、超音波検査での膵管の拡張や胆管の拡張など何か異常がありましたらご相談いただければ幸いです。

黄疸 ホットライン

肝胆膵外科医師 直通

080-1410-1312

黄疸の症状でお困りの際は
ご連絡ください。



月ー金 9:00-19:00
土 9:00-13:00 日祝日除く

 泉大津急性期メディカルセンター

神経内分泌腫瘍外来

神経内分泌腫瘍（NEN）は全身の神経内分泌細胞から発生する比較的まれな疾患です。昔はカルチノイド（がんもどき）といわれていた腫瘍です。日本では直腸と膵臓に多く認められます。転移のない腫瘍は治療法に迷うことはほとんどありませんが、転移や再発症例は専門的な知識が必要になってきます。近年はルテチウムオキソドotreotide（ルタテラ®）と呼ばれるソマトスタチンアナログにルテチウム-177（放射性同位元素）が結合した薬品を点滴するペプチド受容体放射性核種療法（PRRT）という新たな治療法が加わり、治療の選択肢が増えました。現在のところ当院で PRRT はできませんが、大阪公立大学医学部附属病院と連携を取りながら、専門的な治療がおこなえるように外来を開設いたしました。お気軽に相談いただければ幸いです。

2002 年 大阪市立大学医学部 卒業
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医
日本肝胆膵外科高度技能専門医
日本膵臓学会指導医
日本癌治療学会がん治療認定医
医学博士



外来担当医表

月～土曜日（日曜・祝日・年末年始 休診）

午前 8:15-11:45 診察 9:00～

午後 完全予約制

		月	火	水	木	金	土
午前	D 1診	初診 田中浩明 担当領域: 食道・胃	初診 西岡孝芳 担当領域: 肝胆膵	初診 野田英児 担当領域: 大腸	初診 西 智史 担当領域: 食道・胃	初診 岩内武彦 担当領域: ヘルニア	-
	D 2診	予約 西 智史 担当領域: 食道・胃	予約 大平 豪 担当領域: 肝胆膵	予約 竹内一浩	予約 大平 豪 担当領域: 肝胆膵	予約 野田英児 担当領域: 大腸	-
	D 3診	予約 野田英児 担当領域: 大腸	予約 田中浩明 担当領域: 食道・胃	予約 岩内武彦 担当領域: ヘルニア	予約 西岡孝芳 担当領域: 肝胆膵	-	-
	D 4診	予約 森田隆平 担当領域: 呼吸器	-	予約 青田尚哲 担当領域: 肝胆膵	-	-	-
	D 5診	-	-	ストマ外来	-	-	-
午後	D 1診	-	-	-	-	-	-
	D 2診	完全予約 西 智史 担当領域: 食道・胃	完全予約 大平 豪 ※1 担当領域: 肝胆膵	-	完全予約 大平 豪 ※1 担当領域: 肝胆膵	完全予約 野田英児 担当領域: 大腸	-
	D 3診	-	完全予約 田中浩明 担当領域: 食道・胃	完全予約 岩内武彦 担当領域: ヘルニア	-	-	-

2025年5月1日現在

予約 予約制 **完全予約** 完全予約制 **初診** 紹介状や、予約のない方は待ち時間が長くなります。

※1 肝胆膵外来・神経内分泌腫瘍外来

※ **初診の方（初診外来）は、担当領域に関係なく月～金曜日の午前に受診可能です。**

※ 予約時間はあくまでも目安です。診療の状況により、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

※ 上記診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいますようお願いいたします。

ご予約方法（患者さんの紹介方法）

- ① 診察・検査申込用紙【FAX 用】にご記入ください。
（各種検査申込用紙はホームページからダウンロードしてご使用ください）
- ② 申込書を地域医療連携室へ FAX してください。
- ③ 予約状況を確認し、予約をお取りいたします。
- ④ 予約票を FAX で返送いたします。
- ⑤ 予約票を患者さんへお渡しください。
当日予約票・診療情報提供書をご持参ください。

※お急ぎの場合はお電話でも対応させていただきます。

※予約状況により、ご希望に添えないことがございます。ご了承ください。

予約受付時間

月～金曜日 9:00～20:00 まで

土曜日 9:00～17:00 まで ※日曜・祝日を除く

 Tel. 0725-58-8235  Fax. 0725-58-8238

泉大津急性期メディカルセンター 地域医療連携室



無料送迎バス

下記の送迎バスを運行しています（日曜・祝日は運行していません）。

- …「泉大津駅」行き
- …「和泉中央駅」行き
- …「ベルランド総合病院（府中病院・ベルアンサンブル経由）」行き
- …「泉大津 森郵便局前」行き
- …「当院」と「府中病院」と「和泉府中駅」間のシャトルバス

※ 泉大津市運営の「ふれあいバス」が停留します。

時刻表など
詳細はこちら



Address. 〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97-1



Mail. chiikirenkei@imc.seichokai.or.jp

病院WEBサイト



 YouTube



 Instagram



患者さんの紹介に関するご不明な点は、地域医療連携室までご連絡ください。